

東北地域における

健康経営優良法人2022

取組事例集

2023年3月発行
東北経済産業局 産業部
商業・流通サービス産業課

はじめに

健康経営の普及促進に向けた「健康経営優良法人認定制度」において、第7回となる「健康経営優良法人2023」では、東北地域から大規模法人部門79法人、中小規模法人部門1,247法人が2023年3月8日に認定されました。各県ごとの認定数は年々増加しており、健康経営に対する企業の関心度は、東北地域においても益々高まっております。

この度、東北地域の更なる健康経営の普及促進を図るため、東北経済産業局において、昨年度「健康経営優良法人2022」の認定を受けた企業を対象に、東北6県における健康経営の優良事例として14社を取り上げ、取組事例集として取りまとめました。

社員の健康を会社組織全体で管理し、経営理念にも組み込んでいくなど経営的視点で捉え、戦略的かつ積極的に社員の健康づくりに取り組まれている企業を紹介しております。健康経営の取組内容、成果、今後の展望など、企業等の皆様が健康経営に取り組むうえでの参考として本事例集をご活用いただければ幸いです。

当局でも引き続き、健康経営の更なる推進に向け、尽力いたします。

最後に、本事例集の作成に当たり、資料のご提供やヒアリング等にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

東北経済産業局
商業・流通サービス産業課

健康経営優良法人認定制度について

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、社員や求職者、関係企業や金融機関などから「社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

本認定制度は、規模の大きい企業や法人を対象とした「大規模法人部門」と、中小規模の企業や法人を対象とした「中小規模法人部門」の2つの部門に分け、それぞれの部門で「健康経営優良法人」を認定します。



健康経営優良法人
Health and productivity
大規模法人部門



健康経営優良法人
Health and productivity
中小規模法人部門

健康経営優良法人認定制度の詳細につきましては、[経済産業省ホームページ](https://www.meti.go.jp/home/page/economy)をご確認ください。



https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html



健康経営優良法人認定事務局ポータルサイト「[ACTION! 健康経営](#)」にて申請スケジュールやセミナー情報を掲載しておりますのでご覧ください。



<https://kenkoukeiei.jp/>



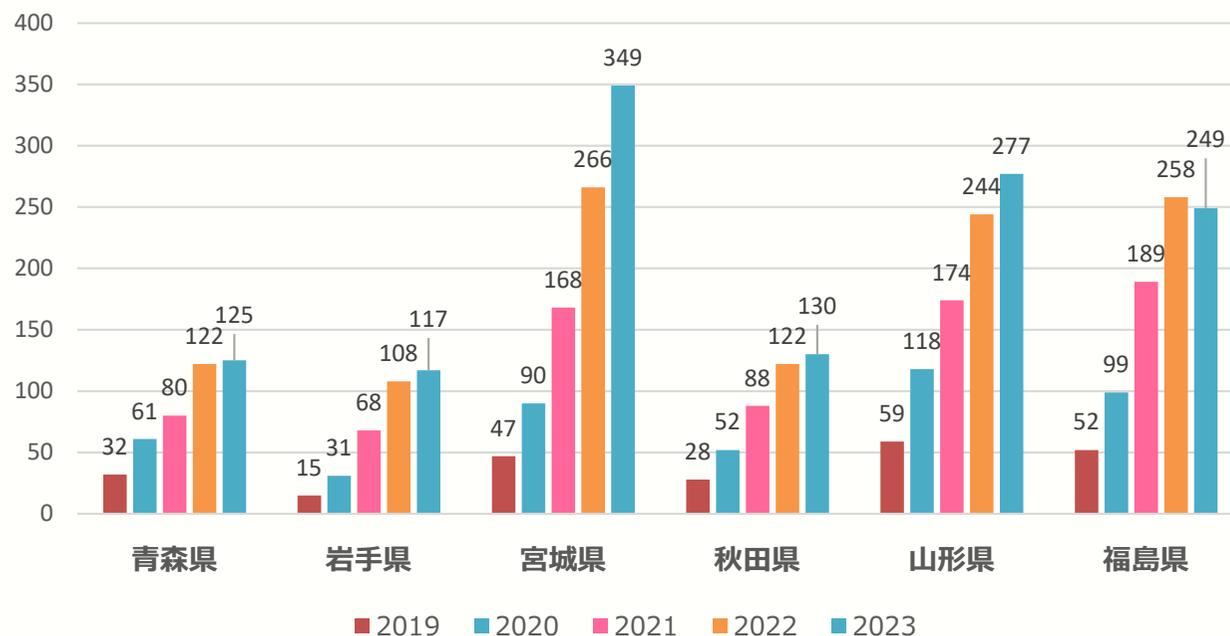
東北管内の認定状況（5年間の推移）

「健康経営優良法人2023」として、東北管内からは**大規模法人部門79法人、中小規模法人部門1247法人**が認定されました。**中小規模法人部門では、対前年比1.1倍、対全国比は8.9%**（ブライツ500含む）の伸びとなり、年々、健康経営へに対する関心が高まっていることがうかがえます。

※2023年3月8日現在

健康経営優良法人（中小規模法人部門） 東北管内の認定件数の推移

※ブライツ500含む



健康経営優良法人（大規模法人部門） 東北管内の認定件数の推移

※ホワイト500含む



県名	2019	2020	2021	2022	2023
中小規模法人部門					
青森県	32	61	70	116	121
岩手県	15	31	60	104	113
宮城県	47	90	158	254	337
秋田県	28	52	81	119	127
山形県	59	118	166	233	266
福島県	52	99	179	248	239
東北	233	451	714	1074	1203
全国	2503	4811	7398	11765	13512
					対全国比 8.9%
中小規模法人部門 (ブライツ500)					
青森県	—	—	10	6	4
岩手県	—	—	8	4	4
宮城県	—	—	10	12	12
秋田県	—	—	7	3	3
山形県	—	—	8	11	11
福島県	—	—	10	10	10
東北	—	—	53	46	44
全国	—	—	536	503	500
					対全国比 8.9%
大規模法人部門					
青森県	2	3	4	4	5
岩手県	3	3	8	10	13
宮城県	3	9	19	23	21
秋田県	2	2	2	3	4
山形県	3	3	5	11	12
福島県	6	10	11	18	19
東北	19	30	49	69	74
全国	820	977	1301	1798	2176
					対全国比 3.4%
大規模法人部門 (ホワイト500)					
青森県	—	0	0	0	1
岩手県	—	1	0	0	0
宮城県	—	3	3	1	1
秋田県	—	0	0	0	0
山形県	—	1	1	1	2
福島県	—	4	4	2	1
東北	—	9	8	4	5
全国	—	496	500	499	500
					対全国比 3.0%
					対全国比 1.0%

目次



大規模法人部門

1. 株式会社青森銀行 【青森県】 … 6
2. 株式会社でん六 【山形県】 … 7



中小規模法人部門

1. 有限会社アサヒ印刷 【青森県】 … 8
2. 北星交通株式会社 【青森県】 … 9
3. 岩手道路開発株式会社 【岩手県】 … 10
4. 株式会社タカヤ 【岩手県】 … 11

目次

5. 株式会社ミヤックス 【宮城県】	…	1 2
6. 白石ポリテックス工業株式会社 【宮城県】	…	1 3
7. 東光コンピュータ・サービス株式会社 【秋田県】	…	1 4
8. 能代電設工業株式会社 【秋田県】	…	1 5
9. 羽陽建設株式会社 【山形県】	…	1 6
1 0. 有限会社備研 【山形県】	…	1 7
1 1. 北都オーディオ株式会社 【福島県】	…	1 8
1 2. 伊達貨物運送株式会社 【福島県】	…	1 9



健康経営優良法人
Health and productivity

2017・2018・2019・2020
2021・2022・2023 認定

大規模法人部門

株式会社青森銀行

金融業

◇会社概要

- 代表者：取締役頭取 成田 晋
- 所在地：青森県青森市
- 営業店舗数：本支店・出張所 82
- 社員数：1,215名（男性771名、女性444名）
- ホームページ：<http://www.a-bank.jp/>

◇取組の概要

- ・ 乳がん、胃・大腸がんの受診勧奨及び費用助成。
- ・ 敷地内・建物内禁煙及び就業時間内禁煙。
- ・ **ドイツ式健康ウォーキング「クアオルト」を浅虫温泉で年2回実施。**浅虫温泉の街中や森林公園を歩くほか、浜辺でヨガ等を行い、行員の心身の健康増進に努める。
- ・ 2019年から**弘前大学COIプログラムへ参画**し、啓発型検診やQOL検診を実施。唾液等の口腔状態や歩幅の計測を始めとした通常の定期健診と異なる項目を測定し、結果をフィードバックすることで、意識変容を促進。
- ・ 月に2回、1回15分以上の**上司と部下の1on1ミーティングによりコミュニケーションを促進**。上司側には部下とのミーティングのノウハウを専門家によりレクチャー。
- ・ **あおぎん「ウーマン・アクティブ」宣言**を行い、女性管理職と女性の法人営業担当者の増加を目指す。
- ・ コロナ禍でインフラ整備を進め、一部の部署ではテレワークを実施。 ほか



弘前大学COIプログラムへ参画 浅虫温泉でのクアオルトウォーキング

◇取組のきっかけ

- ・ 2014年2月、①**社員の健康を重要な経営資源**のひとつとして位置づけ、健康増進により、組織活力及び生産性の向上を図ること、②**地域の健康増進への積極的な支援**により、青森県の短命県返上に貢献することを目的に「あおぎん健康宣言」を策定。それ以来、社員の健康増進と健康経営に力を入れて取り組んできた。

◇メリット・効果など

- ・ 喫煙率は男性が2016年36.7%→2020年29.2%、女性が2016年7.6%→2020年5.9%へ大幅減少。
- ・ **社員自ら自分の時間をマネジメントする意識付け**が出来てきた。

◇今後の展望

- ・ 検診データの分析ソフトを導入し、**データの見える化**を行い課題解決に向けた施策を展開していきたい。



健康経営優良法人
Health and productivity

2021・2022・2023 認定

大規模法人部門

株式会社でん六



地域未来牽引企業

製造業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 鈴木 隆一
- 所在地：山形県山形市
- 社員数：803名（男性421名、女性382名）
- 事業内容：菓子の製造販売
- ホームページ：<http://www.denroku.co.jp/>

◇取組の概要

- **定期健診受診率、一次100%、二次99%**。定期健診の受診費用は全額会社が負担。
- **敷地内全面禁煙**。20年ほど前から社内で禁煙運動を実施し、喫煙率は18.7%と全国平均を大きく下回る。
- ラジオ体操委員会を設置し、朝礼前に全社員がラジオ体操を実施。
- 厚生労働省による**子育てサポート企業認定制度くるみんを取得**。
- メンタルヘルスに関する**健康WEBセミナーや睡眠の質を向上させるためのポイントに関する動画**等を社員向けに配信。受講結果は研修報告書として提出してもらい、理解を深めることとしている。
- 上山市と「健康経営相互応援協定」を締結。また、**上山市と合同企画でクアオルト事業を実施**。蔵王高原等において専門家の監修の元ウォーキングを行うことで社員の運動の習慣付けに取り組む。
- (株)日本政策投資銀行から、**山形県で初の「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」に基づく融資を受ける**。
（ほか）



クアオルトウォーキング



朝礼前のラジオ体操

◇取組のきっかけ

- 健康経営につながる取組は従来から行っていたが、令和3年から「**でん六健康経営宣言**」を**発出**し、独自の健康経営の取組を対外的に発信・見える化した。

◇メリット・効果等

- 正社員有給取得率2018年36.4%→2021年52.6%に増加。
- 保健指導受診率は2021年全国23.5%に対して、83.3%。
- 血圧リスク保有率は2021年全国47.6%に対して41.9%。
- 健康経営に関してテレビ取材も行われ、健康経営の取組を知ってもらうことが**企業PRに繋がっている**。

◇今後の展望

- 啓蒙活動と併せて「**食**」から**社員の健康増進を促進**する。具体的には、食堂での健康に配慮したメニューや減塩弁当の提供を検討。



健康経営優良法人
Health and productivity

2020・2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門

有限会社アサヒ印刷

その他

◇会社概要

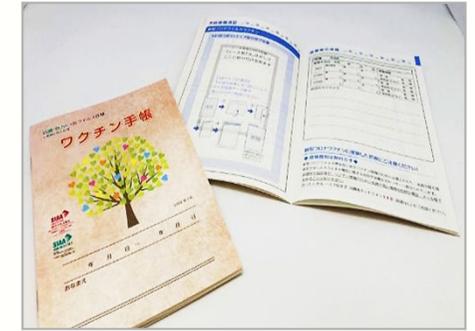
- 代表者：代表取締役社長 漆澤 知昭
- 所在地：青森県弘前市
- 社員数：14名（男性7名、女性7名）
- 事業内容：製本業、印刷物加工業
- ホームページ：<https://asahiinsatsu.co.jp/index.html>

◇取組の概要

- No残業デーやテレワーク制度を導入しライフスタイルにあわせた働き方を推進。
- 育児や介護のための短時間勤務制度について、法定水準を上回る制度を設計。育児・介護に係る特別休暇として5日/年を設けている。
- 社内コミュニケーション推進の一環で社員発案の「ウォーキングチャレンジ!」イベントを実施。社員の運動促進に向けた機運醸成の目的も兼ねている。
- 社員間の日々の心がけや姿勢及び気遣いへの感謝を伝える「今日のありがとう」を朝礼時に実施しコミュニケーションを促進している。
- インフルエンザ予防接種費の会社負担や、職域接種の実施。
- 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種時間の出勤認定やワクチン接種を希望する社員については会社で予約を行い、社員の負担軽減を図る。また、副反応による体調不良が生じた場合の特別休暇認定の実施。 (ほか)



ウォーキングチャレンジの表彰



「抗菌ワクチン手帳」

◇取組のきっかけ

- 会社が社員と家族の過ごす時間を奪ってはいけないという考えのもと、健康宣言の実施をきっかけに健康経営への取組が始まった。

◇メリット・効果等

- 健康経営優良法人認定を受けたことをきっかけに採用への応募が増加した。
- 健康経営の意識が社員に浸透し、利用者目線で開発した「抗菌ワクチン手帳」の製造販売開始。手帳をきっかけに大手小売業者との取引も始まった。
- 社員の有給休暇取得率はほぼ100%。

◇今後の展望

- 女性の割合が増加してきたことから、休憩スペースも含めた働きやすい職場環境づくりの実施。
- SNSを含めた健康経営への取組情報の更なる発信。
- 健康経営の視点を備えた商品開発の推進。

2019・2020・2021・2022・2023 認定

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 板垣 伸
- 所在地：青森県弘前市
- 社員数：221名（男性186名、女性35名）
- 事業内容：運輸業
- ホームページ：<http://www.hokuseikotsu.co.jp/>

◇取組の概要

- ・ 弘前大学の教授からアドバイスをいただき、社員の血圧に着目。**出勤時に血圧と体重の測定を実施**。数値は個々のファイルに毎日記入し、自分の健康状態を把握できる仕組みづくり。
- ・ 出庫前の点呼時には、**軽いストレッチを全社員実施。コミュニケーションの場となっている。**
- ・ **北星交通(株)独自の『北星版健診』で筋肉や脂肪量を測定**。社員全員が積極的に受診しており、受診結果を社員に提供している。
- ・ **敷地内は全面禁煙**とし、社用車についても全車禁煙としている。
- ・ 定期健診受診率は100%。二次検診に該当した社員には、受診を促すとともに、**危機感を持ってもらう目的で月に1回産業医との面談を実施**。
- ・ 夜勤の社員と日勤の社員がコミュニケーションを図る場をつくる目的で、年に1回社員全員が集まる食事会を実施。 ほか



産業医による健康指導



出勤時の血圧測定

◇取組のきっかけ

- ・ タクシー業界はドライバーの平均年齢が他業種に比較し高い傾向にあるため、**社員に健康で働いてもらうことが会社の成長につながると考えたこと。**

◇メリット・効果など

- ・ 健康経営への取組をメディアで取り上げていただき、ドライバーへの安心感を求めるお客様の利用が増加した。
- ・ 社員の健康に対する意識が変化し、歩く習慣や、**毎日の血圧チェックで自発的に病院で検診を受ける社員が出てきた。**
- ・ 積極的に有給休暇を取得する意識が根付いた。

◇今後の展望

- ・ **女性が働きやすい環境づくりの実施。**
- ・ 社員を飽きさせない新たな健康づくりに向けた取組の検討及び実践。



健康経営優良法人
Health and productivity

2020・2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門 岩手道路開発株式会社

建設業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 田村 昭徳
- 所在地：岩手県盛岡市
- 社員数：16名（男性14名、女性2名）
- 事業内容：交通安全事業、製造・販売事業
- ホームページ：<https://www.doukai.rocks/>

◇取組の概要

- ・ 定期健診受診率100%。二次検診の場合は特別休暇の利用が可能。
- ・ 有給休暇を始め、結婚休暇、産休・育休、介護休暇等、休みが取りやすい環境を整えている。
- ・ 熱中症対策等、社員が働きやすい環境を整えるために、夏はファンベスト冬はウォームヒーターを支給。
- ・ 社員全員にスマートウォッチを配布し、歩数や心拍数等を把握。社員の運動不足の解消、健康への意識向上に役立てている。
- ・ 社員同士のコミュニケーションの機会創出のため、勤務時間内にチャリティウォークやボーリング大会等のレクリエーションを実施。大会の景品は健康グッズを配布。
- ・ ストレスチェックを実施。また社員が健康経営アドバイザーの資格を取得し、ストレス度が高い社員のカウンセリングを行う。
- ・ 禁煙に成功した人やもともと喫煙をしていない社員に対し、禁煙手当を支給。 ほか



チャリティウォーク



ボーリング大会

◇取組のきっかけ

- ・ 社員が健康で働きやすい環境を整えていった結果、自然と認定の要件を満たしていた。

◇メリット・効果等

- ・ 社員の定着率の向上。
- ・ 健康経営に認定されている企業であることが一因となり新入社員が入社。

◇今後の展望

- ・ 現在の取組を継続し定着させていく。
- ・ 高齢者疑似体験や認知症に関する勉強会等を実施し自身の健康だけでなく、周囲の人の健康状態への理解を深めていく。
- ・ プラチナくるみんの取得を目指し、より一層子育てをしながらも働きやすい環境を整えていく。



健康経営優良法人
Health and productivity

2018・2019・2020・
2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門 株式会社タカヤ



地域未来牽引企業

建設業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 望月 光雄
- 所在地：岩手県盛岡市
- 従業員数：245名（男性195名、女性50名）
- 事業内容：総合建設業（土木・建築工事請負業）、不動産業
- ホームページ：<https://takaya-net.jp/>

◇取組の概要

- 健康経営の取組推進のため、これまで健康経営関連の業務を担っていた総務部内に「健康推進室」として新たにチームを結成。
- 社内で保健師を採用し、**ストレスチェック・対策などの保健指導**を実施。
- 禁煙者に対する手当（5,000円/月）を支給。
- 定期健診（30才未満）、人間ドック費用（30才以上）の費用を会社が負担。**受診率100%**。また受診日は特別（有給）休暇を付与している。
- 食生活の改善を目指し、**毎日の昼食に1品プラスしてサラダを100円で購入**出来る「OFFICE DE YASAI」というサービスを社内に導入。
- 社員の運動の機会を増やすよう、**月に1度「スポーツの日」**を定め、本社隣にある体育館でスポーツイベントを開催。同施設内のトレーニングジムの利用料も補助。
- 社員の健康意識向上のため、定期的なセミナー開催や、月に1度社員向けに健康関連情報を配信。（ほか



会社行事（登山）



会社行事（マラソン大会）

◇取組のきっかけ

- 病気が原因で仕事ができなくなる人をこれ以上作らないようにしたいという思いから、社員の病気の予防・健康意識向上を目的に取り組みを始めた。

◇メリット・効果等

- 社員の健康に対する意識が向上するとともに、大学や企業等からの講演依頼や見学・取材依頼が増えるなど、社外からの取組への関心も高まった。
- 喫煙率は12%（2023年12月）

◇今後の展望

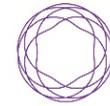
- 社員の未病を防ぐ**ための意識向上に取り組む。
- 社員のメンタルヘルスケアに力を入れるため、検診等の分析結果を公表し、次の取組に繋げる仕組みを検討している。



健康経営優良法人
Health and productivity

2017・2018・2019・2020・2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門 株式会社ミヤックス



地域未来牽引企業

小売業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 高橋 蔵人
- 所在地：宮城県仙台市泉区寺岡1丁目1番地の3
- 従業員数：37名（男性29名、女性8名）
- 事業内容：修景遊具環境事業、オフィスパブリック・施設事業、デジタルソリューション事業
- ホームページ：<https://www.miyax.jp/>

◇取組の概要

- 各種データに基づいて現状を把握し、地方中小企業に適した「身の丈健康経営」を推進。
- 健康経営の取組に対する会社の成熟度を測り、社員の健康意識の度合い、会社として何をどのように取組むべきか検討したうえでPDCAサイクルを回す。
- 定期健診の健診項目の増加。また定期健診の結果をデータベースに入力することにより、個人の健康リスク、会社全体の健康リスクを見える化。健診データや歩数データは、個人に配布されているスマートフォンで常に確認が可能。
- 「座りすぎ」による健康リスクの低減のため、昇降デスクを導入。「立つ」ことを習慣化することにより「歩く・動く」ことのハードルを低くする。
- 有給休暇等の各種休暇制度が取りやすい環境を整備。また、必要に応じてテレワークも実施可能。
- 自社だけではなく地域の協力企業に対して健康経営の推進計画作成のサポートを実施。 (ほか)



昇降デスクを導入



会社全体/個人の健康リスクの見える化

◇取組のきっかけ

- 100年続く企業に向け、「社員は資産であり社員の健康増進は当然の投資」という考えから、社員一人ひとりが心身共に健康で、イキイキと働ける企業を目指した。

◇メリット・効果等

- メディアで紹介されたり健康経営に関する講演依頼を受けることがあり、それにより会社のPRの場の一つとなっている。

◇今後の展望

- 社員の健康意識をさらに高め健康経営を意識せずとも自然と取り組めるようにする。
- 協力企業への健康経営の推進計画作成を継続的にサポートすることにより、地域全体で健康経営への意識醸成を図る。



健康経営優良法人
Health and productivity

2020・2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門

白石ポリテックス工業株式会社

製造業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役会長 田中 健朗
- 所在地：宮城県刈田郡蔵王町
- 社員数：114名（男性24名、女性90名）
- 事業内容：婦人服縫製・プリーツ加工、製造業
- ホームページ：<http://polytex.jp/>

◇取組の概要

- 毎日の始業前に部署毎に全員でラジオ体操を実施。
- **両立支援コーディネーターが産休育休の利用前に本人と面談し、休業から復帰までのプランを立案。**所属長と内容を共有する等手厚いサポートを行う。
- **「社内報」を毎月発行。**休業中の社員や家族向けに健康情報を含めた様々な社内情報を提供。
- **アニバーサリー休暇や子の介護休暇制度**を導入。男性社員の育児休暇取得も推奨。
- メンタルヘルスの一環で、コロナ禍において**自社で製造した布マスクを地元の白石市・蔵王町の小中学生全員に無料で計6,500枚配布。**
- 社員のウェルビーイング向上に向け、**学生支援としてファッション専門学校2校へのプリーツ製作の授業を行う**ほか、障がい者就労支援としてモノづくりの共同開発にも取り組む。
- 運動や減塩に関する保健所のイベント、協会けんぽの出前講座に参加し、**社内での運動機会を創出。**
- 「マイSDGs宣言」として全社員が個人目標を立てる。
- 清掃活動として県道のゴミ拾いを毎月実施。 (ほか)



スマートみやぎ健民優良賞を受賞



産休育休制度を利用した社員との座談会

◇取組のきっかけ

- 「社員の幸せ」を経営方針に掲げており、社員の8割を占める**女性が出産・子育てをしながら持続的に働くことができる環境**を整備する必要があった。

◇メリット・効果等

- 産休育休からの復帰率は100%。
- 健康関連イベントのアンケートでは社員の8割が「体力が向上した」「楽しく取り組めた」と回答。イベント終了後も自主的な運動に繋がっている。
- **健康経営の取組をきっかけに、専門学校生2名が入社。**地域や学生への認知度の向上に繋がっている。

◇今後の展望

- 対外情報発信による会社のイメージアップや人材教育への投資による社員のモチベーションアップにより、**会社・社員のウェルビーイングの向上**に向けた持続可能な取組を行っていく。



健康経営優良法人
Health and productivity

2017・2018・2019・2020・
2021・2022・2023認定

中小規模法人部門

東光コンピュータ・サービス株式会社

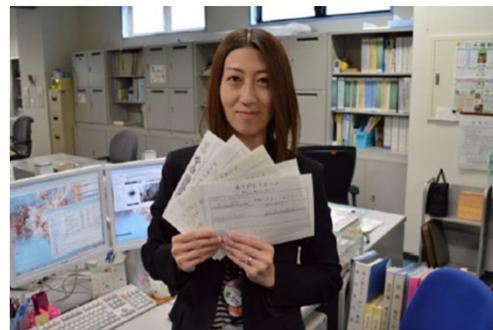
情報通信業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 藤盛 公之
- 所在地：秋田県大館市
- 社員数：73名（男性58名、女性15名）
- 事業内容：ソフトウェア開発、システム構築
LAN・WANネットワーク構築、HP製作等
- ホームページ：<https://www.tcs.tokogrp.co.jp/>

◇取組の概要

- ・ 定期健診およびストレスチェックの結果を集団ごとに集計、分析し把握。
- ・ 二次検診、精密検査が必要な社員に対して受診報告を義務化。**定期健診のオプションも追加可能。**
- ・ ヘルスリテラシーの向上のため、研修映像の視聴や保健指導、健康増進・生活習慣病予防、受動喫煙対策等の情報提供を行う。
- ・ 残業時間の事前申請やノー残業デーの設置、有給休暇の取得促進等、社員が働きやすい環境を整備。
- ・ コミュニケーション促進のため社員同士で感謝の気持ちを伝える「**ありがとうカード制度**」を実施。
- ・ **自動販売機に健康に配慮した商品を揃えたり、職場内に運動器具を設置した運動室を設置。**
- ・ 健康に資する取組（1万歩歩く、体重を記録する、目標の睡眠時間を達成する等）を行った際にポイントがたまるアプリを導入し、社員の健康への意識を向上を図る。 (ほか)



ありがとうカード制度



親睦会 家族も参加

◇取組のきっかけ

- ・ 定期健診で要医療となった社員が二次検診を受けずにいたところ病状が悪化し退職となり、社員の健康の重要性をより強く意識したこと。

◇メリット・効果等

- ・ 有給取得を促したこと等により業務の効率化が図られ売上が増加。
- ・ 健康経営やSDGsの取組により働きやすい環境が整備されリクルートにも寄与。

◇今後の展望

- ・ BMI25%以上の社員の割合を4人に1人以下に減らす。
- ・ **限られた時間でより成果を出すため「勤務間インターバル制度」の導入を検討。**
- ・ **ウェルビーイングの考えをもとに、社員の心身の健康や幸福度を高め、組織の成功循環モデルを構築。**



健康経営優良法人
Health and productivity

2021・2022・2023認定

中小規模法人部門

能代電設工業株式会社



地域未来牽引企業

建設業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 山田 雄太
- 所在地：秋田県能代市
- 社員数：95名（男性88名、女性7名）
- 事業内容：建設業（設備工事業）
- ホームページ：<https://noden.jp/>

◇取組の概要

- ・ 社員に対する定期健診の受診の勧奨および二次検診の結果報告を呼びかけ、再検査の受診率が向上。
- ・ 体格に合わせる事が出来る**昇降式のデスクを設置し**、体に負担が少ない事務作業環境を整備。また、足元に**バランスボードを置いて作業**する社員もおり、社員一人一人が工夫しながら仕事をしている。
- ・ オフィス内の**ゴミ箱の設置は1か所**とし、ゴミを捨てるために行かざるに必ず歩かなければいけない状況をつくりつつ、コミュニケーションが生まれる工夫をしている。
- ・ 感染症予防として職場でのインフルエンザワクチンの接種を可能とし、費用についても会社で一部助成。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が拡大した場合はテレワークを実施できる環境を整備。
- ・ 新型コロナウイルス感染のリスクを低減するため、**社内全体に抗菌・抗ウイルス加工を実施。**（ほか）



社員が働きやすい職場を整備



昇降式デスクの設置

◇取組のきっかけ

- ・ 2017年に新社屋を建設したタイミングで、どのように働くかを社長をはじめ社員全員で考え**「元気で健康に働き続けられる環境」**がコンセプトに決まったこと。
- ・ 健康リスクが高まる年齢の社員が増えてきたこと

◇メリット・効果等

- ・ 会社紹介やパンフレット等において、健康経営に取り組むことによって社員が働きやすい環境を整備していることをPRすることができる。

◇今後の展望

- ・ **禁煙者を増やす新たな取組を検討**している。
- ・ これまで行ってきた労働環境の整備や感染症予防等の取組を、特別な取組とせず、**「当たり前」の取組として継続**していく。



健康経営優良法人
Health and productivity

2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門 羽陽建設株式会社

建設業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 堀川 裕志
- 所在地：山形県上山市
- 従業員数：48名（男性41名、女性7名）
- 事業内容：総合建設業
- ホームページ：<https://www.uyoukensetsu.co.jp/>

◇取組の概要

- ・ 社員の定期検診の受診率100%。
- ・ 令和3年度に上山市と「クアオルト かみのやま」健康経営相互応援協定」を締結。クアオルト（健康保養地・療養地）**認定ウォーキングコースの整備**などに取り組んでいる。
- ・ 健康づくりに関する行動（ウォーキングや体操等）に対してポイントが獲得できる「**かみのやま健康ポイント**」事業に、令和4年度は社員30名程が参加。また、**全社員向けに万歩計を購入**。
- ・ 社内で**年に2度「健康day」を設定**し、森林ヨガや山歩きなどを実施。
- ・ 外部講師を招いて健康セミナーを実施。肩こり・腰痛予防のためのウォーキングやヨガ等を行っている。
- ・ 年に2度、**推定野菜摂取量・推定食塩摂取量の測定会を開催**。外部専門家から料理のレシピを紹介頂く等アドバイスを受けている。

ほか



森林ヨガの様子



健康セミナー（ストレッチ）

◇取組のきっかけ

- ・ 社員の定期検診の結果を受け、生活習慣病の予備群の増加や社員の平均年齢上昇による、**若手育成や技術伝承等にかかるリスクへ対応**するため、会社全体で健康意識の向上に取り組むこととした。

◇メリット・効果等

- ・ 社員の仕事に対する意欲や満足度が以前より高くなり、健康意識の向上につながっている。
- ・ 若手社員が月に1度実施している意見交換会での議論が活発に行われるようになった。

◇今後の展望

- ・ 会社の健康関連行事への参加者を増やすよう工夫しながら、既存の取組や「健康day」を継続していく。
- ・ 上山市と健康経営相互応援協定を締結している他企業とも連携出来るような取組を検討していく。



健康経営優良法人
Health and productivity

2020・2021・2022 認定

中小規模法人部門 有限会社備研

建設業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 石井 良行
- 所在地：山形県市鶴岡市八色木字西野337-3
- 社員数：15名（男性13名、女性2名）
- 事業内容：建設業
- ホームページ：<https://bikentsu.wp-x.jp/>

◇取組の概要

- 定期健診受診率100%。二次検診該当者へは個別で声かけを行っている。
- インフルエンザ予防接種の全額費用補助、接種率100%。
- 喫煙室を設けて分煙を実施。禁煙に向けた治療費に対しては会社が補助。
- 野菜ジュース・調理パン・スープ・玄米おにぎり等の置き社食を提供。朝早い建設業の社員が朝食を摂れるように始めたが、昼食や夜食にも利用できるようにしている。熱中症対策として、ウォーターサーバーや製氷機を設置し、梅干しやビタミンCタブレット等も提供。
- 社内イベントとして年に一度の安全大会の後にスポーツイベントや芋煮会等のレクリエーションを実施。2022年には1泊2日で上山クアオルトウォーキングに参加。健康促進の他、社員同士のコミュニケーションにも繋げている。
- 月1回の社内報で、健康に関する情報を発信。ほか



調理パン等の置き社食



月1回の社内報での情報発信

◇取組のきっかけ

- 社員の一人が、食生活の重要性を感じたことをきっかけに置き社食の第一弾として味噌汁の提供を始めた。保険会社からの勧めもあり、その後本格的に健康経営に取り組むようになった。

◇メリット・効果等

- 以前は定期健診の二次検診該当者が半数以上いたが、2022年は2人までに減少。
- 定期健診の血圧の数値が改善。
- 社員同士がコミュニケーションをとる機会が増え、社員からの相談を会社側が受けやすい環境ができてきた。

◇今後の展望

- 空き時間に運動が出来るように、本社にトレーニングルームやバスケットコートを設けたい。
- 禁煙やメンタルヘルス等の課題に継続的にアプローチしていきたい。



健康経営優良法人
Health and productivity
2022・2023 認定

中小規模法人部門

北都オーディオ株式会社

製造業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 船生 秀文
- 所在地：福島県いわき市
- 社員数：67名（男性20名、女性47名）
- 事業内容：製造業
- ホームページ：<http://www.hokuto-audio.co.jp/>

◇取組の概要

- **身体を動かす習慣づくりのため**、始業前に社員全員でラジオ体操を実施。
- 健康維持や働きやすい職場づくりの取組について、少人数のグループを構成し社員自ら提案。**女性の社員が婦人検診を受診しやすいように近隣の医療機関への変更**や、インフルエンザ予防接種の会場の提供など社員の提案を可能な範囲で実施している。また、優秀な提案には報奨金を贈呈。
- **管理職に向け、健康経営に対する意識統一**を目的とした勉強会の実施。
- コロナ禍においてはテレワーク環境を整備。女性の社員が多いことから、**子どもの感染者が出た場合には看護のための特別休暇を付与**。
- スポーツジムの法人会員となり、社員の運動を推進するだけでなく、運動の場も提供している。
- 禁煙推進の一環で、産業医による禁煙外来を実施。
- 社長のアイデアで**月に1日禁煙デーを制定**。（ほか



始業前のラジオ体操



改善提案の表彰掲示

◇取組のきっかけ

- 会社の成長には社員の健康が必要不可欠であり、社員が「**明るく、楽しく働ける職場**」づくりを考えたことがきっかけ。

◇メリット・効果など

- 名刺に健康経営のロゴを印刷。他社からの問合せなどが増加。
- 定期健診・二次検診の受診率100%。社員全員が結果報告を実施。
- 健康経営優良法人認定後、社員の意識が変化し、**有給休暇取得率は、1年で73%から81%に上昇**。

◇今後の展望

- これまでの取組を継続するとともに、社員がより歩数を増やすための仕組みづくりや、食への意識改善に向けた取組を実施する。



健康経営優良法人
Health and productivity

2021・2022・2023 認定

中小規模法人部門 伊達貨物運送株式会社

運輸業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 酒井 良晃
- 所在地：福島県伊達市
- 社員数：92名（男性83名、女性9名）
- 事業内容：運輸業
- ホームページ：<https://www.datekamotsu.co.jp/>

◇取組の概要

- 定期健診受診率100%。**二次検診までの費用は全額会社が負担**。二次検診該当者には書面で受診を促す。
- **定期健診の他に5年ごとに人間ドックに近い健診**を実施。費用は全額会社が負担。
- 定時退勤や時間休を含む有休取得を推進。**育児休業への理解を高めるために管理職向けの研修**を実施。
- 毎年10月頃に伊達市役所の協力のもと、食育や体操等の**健康に関するセミナー**を実施。食品サンプルを用いた食べ合わせの注意点や、飲料に含まれている砂糖の量等、**楽しみながら勉強できる展示**も行う。
- 安全に対する意識向上を目的に、社員から安全標語を募集し、そのうち一つを選出して職場に掲示。
- 入社式の後に**新人研修として農作業体験**を行う。野菜不足等の食生活に課題を抱える社員も多い中、**育てた野菜を社員に配る**ことで社員の健康に対する意識を醸成する。
ほか



新人研修での農作業体験



伊達市役所との食育体験イベント

◇取組のきっかけ

- 社長が喫煙をやめたことをきっかけに、15年以上前から「**社員の健康はお客様のためでもある**」等、健康の重要性に関するメッセージを発信。

◇メリット・効果等

- 喫煙者が継続して減少している。
- **時間休等の導入により、どの部署の社員も休みを取りやすい環境が整った。**

◇今後の展望

- メンタルヘルスケアの一環として、外部のキャリアコンサルタントをメンターとし、**社員との個人面談**を行っていききたい。
- コロナ禍で少なくなった社員同士のつながりを持たせるために、**部活動等のコミュニケーションがとれる運動機会を創出**していききたい。